

各支部長 様  
各役員 様

栃木県卓球連盟会長 関 則男  
(公印省略)

## 第36回全日本クラブ卓球選手権大会栃木県予選会の開催について

このことにつきまして、下記要項により開催いたします。今年も多数参加され本大会で活躍されますよう、特段のお取り計らいお願いいたします。

記

- 1 名称……第36回全日本クラブ卓球選手権大会栃木県予選会
- 2 と き……平成29年 4月30日(日) 午前9時00分集合
- 3 と ころ……鹿沼総合体育館 鹿沼市上石川町694-1 全日本実業団選手権予選会と同会場
- 4 競技種目……予選会は団体戦のみ  
イ 男子一般の部1部 ロ 女子一般の部1部 ハ 男子一般の部2部  
ニ 女子一般の部2部 ホ 男子50代の部 ヘ 女子50代の部  
ト 男子60代の部 チ 女子60代の部 リ 男子小・中学生部  
ヌ 女子小・中学生部
- 5 チーム編成及び試合方法 (この予選会は リーグ戦を原則として勝敗を決める)  
1部・2部男女……監督1名・コーチ1名、選手4～6名を登録することができる。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。  
50代の部男女……50歳以上で登録する。人数・試合法は1・2部に同じ。  
60代の部男女……60歳以上で登録する。人数・試合法は1・2部に同じ。  
小・中学生の部男女……監督1名、コーチ1名、選手4～6名(中学生以下)を登録し、4シングルス1ダブルスを編成し、予選リーグは、勝敗に関係なく全試合5番まで行う。記録結果はリーグ内すべて比率計算とする。この場合の出場順は次の通りとする。  

1	2	3	4	5
中学生以下A	小学生A	小・中学生or小学生同士	小学生B	中学生以下B

  
※1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。  
ただし、年令の低い者が年令の高い所への出場は認める。、シングルスのみ2試合出場することはできない。
- 6 参加資格(各種目共通 本県に関係あること)
  - (1) 参加者は、平成29年度 県卓連加盟員で日本卓球協会登録者で構成する団体であること。
  - (2) 参加チームは、原則として現住所または勤務先を同一都道府県内とするメンバーからなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。但し、現住所勤務先がクラブ登録地と異なる選手の出場については、該当加盟団体長の承認を必要とし、この場合は①隣接都道府県であり同一クラブ名称で登録していること。②該当登録地及び出場の加盟団体長から承認されていること。なお、(隣接都道府県)のチームから参加する場合は、該当年度を含め2年間は該当チーム以外からは出場できない。出場する場合は1年間あけること。
  - (3) 出場者は(予選会を含めて)同一年度に一人一種目までとする。
  - (4) 卓球メーカーチームも参加できる。但し、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
  - (5) 男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
  - (6) 予選出場選手と本大会の選手を、予選出場チーム間で入れ替えることはできない。  
また、前年度ランキングチームの選手がチームを代えて出場できるのは2名までとする。  
予選の方法は、加盟団体に一任する。
  - (7) 前年度ランキングチームはそのランキング種目に無条件でそれぞれ出場できる。但し無条件参加資格を持つチームが本大会の都道府県予選会に申し込みした場合は、申し込みした時点で無条件資格を放棄したものと取り扱う。
  - (8) 前年度ランキングチームが『前年度一般の部から50代の部』、『前年度50代の部から60代の部』に出場する場合、選手が4名以上同じであることを条件に推薦出場することができる。
  - (9) 外国籍の選手は、1チーム1名1ポイントに限って参加資格が得られる。(シングルスとダブルスに重複して出場することは出来ない。)

- (10) 本会が認めた場合、特別チームを出場させることができる。
- (11) 本大会に出場した代表チームの選手は、三共レディース2017第40回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することができない。(但し、予選会を除く。)
- (12) 一般の部1・2部男女は、第67回実業団選手権大会(本大会)出場者は出場できない。
- (13) 一般の部2部男・女
- ① 日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間('14～'16)下記の全国大会に出場したことがない人で構成されたチーム。
  - ② 過去3年間('14～'16)下記の全国大会に出場したことがない人だけで構成され他チームは、(過去3年間に下記の全国大会に出場した選手が1人でも含まない場合には1部となる)
  - ③ 全日本実業団選手権大会(予選会を除く)に参加したことがない企業チーム。
- ※ 下記の大会に出場したことがあっても40歳以上のものは一般の2部に出場できる。
- a) 全日本卓球選手権(一般・ジュニアの部) b) 全日本選手権(団体の部)
  - c) 国民体育大会 d) 全日本社会人選手権 e) インターハイ(シングルス・ダブルス)
  - f) 全日本学生選手権(団体の部)
- (14) 50代の部男女……昭和43年4月1日以前に生まれたもので構成された単独チーム(50才以上)
- (15) 60代の部男女……昭和33年4月1日以前に生まれたもので構成された単独チーム(60才以上)
- (16) 小・中学生部男女……各種の全国大会に出場した者でもよい。年令の低い者だけで構成してもよい。
- 7 ルール……現行の日本卓球ルールによる。
- 8 使用球……使用球はJTТА公認プラスチック球40mmホワイトを使用する。
- 9 申込方法……別紙申込書により ☎320-0806 宇都宮市中央 2-1-2インザキスポーツ内 県卓連事務局あて 4月22日(土)午後5時までに申し込む。(電話・口頭不可)
- 10 組合せ……4月24日(月)午後5時半から 後日担当者にご連絡します。同所で県卓連役員が行う。又、実業団予選の組合せも行う。
- 11 参加料……1チーム 4,000円 当日 受付で
- 12 その他
- (1) 予選会は何チーム参加してもよいが、強いチームからA、Bとすること
  - (2) 予選の結果、県代表になったチームは、全国大会参加料1チーム30,000円(1・2・50代・60代部)20,000円(小・中部)を納入願います。(県卓連一部補助)
  - (3) この予選会に出場しないチームは、日卓協枠外を除き本大会出場は認めない。
  - (4) 小・中学生の部は本大会2チーム出場

※第36回全日本クラブ卓球選手権大会

期日・会場……平成29年7月14日～17日 広島県広島市 広島県立総合体育館  
7/14から50代、60代開始7/15から1、2、小・中開始(予定)

栃木県代表……団体1, 2, 50代, 60代部は男女各1チーム 小・中学生男女各2チーム

※要項不明問合せ先

事務局長 大塚 康夫 (090-1610-6245)

----- キ ----- リ ----- ト ----- リ ----- セ ----- ン -----

平成29年度 第36回全日本クラブ卓球選手権栃木県予選会 申込書  
栃木県卓球連盟宛

No.	参加種目	選手名	所属チーム	性別	年齢学年	生年月日	主な戦績
1							
2							
3							
4							
5							
6							

上記のとおり申し込みます。

平成29年 月 日

参加料

申込み責任者 所属又はチーム名 \_\_\_\_\_  
現住所〒 \_\_\_\_\_  
氏名 印 (Tel \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_